

伊那北選抜コース



上伊那地区から全国を目指す生徒さんのために



伊那北選抜コースは、伊那北高校合格をゴールとしてはいません。例えば首都圏の中高一貫校の生徒たちと大学受験で戦う学力をつけるには、中学・高校の枠を外し、中3の春の段階から入試に向けた意識を醸成し、夏以降は高校以後の学力に耐えうるだけの学習を行っていくことが重要です。冬から春にかけては、高1の内容に踏み込んだ予習授業を行います。そして、高校進学後も上位を維持できる学力を目指す学習に取り組みます。

そもそもこのコースをなぜ開講するのか



少子高齢化の急激な進行により、高校受験者数の総数は加速度的に減少しています。その結果、適切な競争環境が育成されず、中学生の成績の地盤沈下が進行しています。いずみ塾では、上位を目指す生徒さんに、本来の競争環境を取り戻すべく、伊那北選抜コースを開講します。

コースの特徴

- 1 本コースでは、春の段階から、入試レベルの問題を取り扱い、指導を行っていきます。解答作成能力も高いものが求められます。そのため、指導についていけるかどうかの入室テストを実施いたします。
- 2 部活が盛んな上伊那地区の現状を踏まえ、限られた時間で最大の効果を発揮するために授業日時は週に1回として、その中で指導と演習の時間を確保し、上位合格達成に導きます。
- 3 なが模試受験（必須）学力の定着度合いを全8回のなが模試にて判断します。模試で高偏差値を取ることが大学受験に向けても重要なことです。

県内中3生の約3人に1人が受験

なが模試を受験することで
確かな学力が分かる



学力の判断は学校テストだけでは不十分です。本コースでは年8回のなが模試（県内の中学3年生のおよそ3人に1人が受験 ※2022年度実績）を受験して頂き、全伊那北志望者内での順位や総合偏差値等で学力を把握していきます。高い模試偏差値を維持し、伊那北上位合格はもちろん、大学入試を見据えた学習を行っていきます。※成績優秀者には模試代金返金制度もあります。

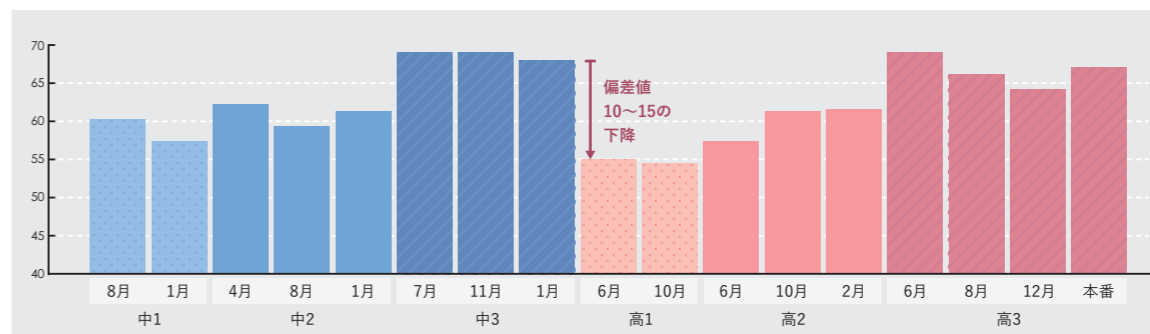


衝撃の事実

高校の模試は偏差値が
グンと下がる！

高校生の模擬試験では、真面目に勉強をしても
中学時の模擬試験と比較して偏差値が10~15下がります。

▼主要3科 偏差値推移(難関大学現役合格)



大学受験で
成功するために
必要なこと

- 1 『高校入学前』に学力を高めておく。
- 2 高校入学後の『先取り学習』。

後追いサイクル

高校の授業で初めて学ぶことばかりなので
分からない単元が増えていきます。



先取りサイクル

先に学び終えている範囲を習うため、
高校の授業が復習になり、理解度が上がります。



先取りで学習することこそが、受験期の勉強時間の短縮につながります！

伊那北高校

難関大を目指す進学校だが

合格できるのは
ほんのひと握り

伊那北高校 難関大「現役」合格実績

- ※難関大… 旧帝大、一橋大、東工大、早稲田大、慶応義塾大
- R5 卒 東京大1、北海道大4、東北大1、名古屋大1、京都大1、一橋大1、早稲田大3、慶応義塾大5
 - R4 卒 東京大1、北海道大1、東北大1、名古屋大5、京都大1、大阪大1、一橋大1、早稲田大5、慶応義塾大4
 - R3 卒 東京大2、北海道大1、東北大1、名古屋大5、大阪大2、東京工業大1、早稲田大6、慶応義塾大1